

2018年度

「経団連推薦社内報審査」 作品募集のご案内

経団連事業サービス社内広報センターは、2018年度も「経団連推薦社内報審査」を実施し、優秀社内報の推薦・表彰を行います。「経団連推薦社内報審査」は、経営に役立つ社内広報活動の推進を目指し、編集者の日ごろの活動を評価・奨励することによって、社内報のレベルアップを図ることを目的としたもので、1966年より毎年実施しています。

53回目を迎える本年度は、「雑誌・新聞型社内報」、「イントラネット（WEB）社内報」、「映像社内報」の3部門を設け、それぞれの部門で社内報を総合的に審査します。

さらに昨年度に続き、社会の重要課題である①ダイバーシティ、②働き方改革の2テーマを対象とした「特定テーマ」を加え、全4部門で作品を募集します。

応募作品が、自社の経営環境や状況を的確に反映した発行目的・編集方針をもち、また、それをどれだけ実現できているかを複数の審査員が多角的に審査し、作品ごとに講評をフィードバックします。さらに審査結果が優秀な作品の中から雑誌・新聞型社内報、イントラネット（WEB）社内報、映像社内報の3部門については優秀賞、総合賞、特別賞を選定、特定テーマ部門は企画賞を選定し、経団連会長名にて表彰いたします。

情報通信技術が発達し、働き方にもさまざまな改革が求められています。経営環境が大きく変わる中、従業員の意識や価値観も多様化し、社内・グループ内のコミュニケーションの重要性は一段と増しています。

ぜひ、企業・団体における社内広報活動の充実・発展に本審査をご活用ください。

ご応募・お問い合わせは下記までお願いいたします

一般社団法人 経団連事業サービス 社内広報センター

<http://www.keidanren-jigyoservice.or.jp>

〒100-8187 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

E-MAIL: syanaikoho@keidanren-jigyoservice.or.jp

TEL: 03-6741-0048 FAX: 03-6741-0051



応募要領

全部門の審査に共通する事項

- 審査対象：日本国内において企業、事業所、団体などが発行・発信・配信・放映している社内報が対象です。
対象期間：2017年10月～2018年9月に発行・発信・配信・放映された作品を対象とします。
対象言語：英語併記や多言語対応の社内報は、グローバル化やダイバーシティへの対応姿勢については評価をいたしますが、日本語以外の文章、内容については審査、講評の対象外となります。
※各部門の審査についての詳細情報は右ページをご覧ください。

応募方法

経団連事業サービスのホームページ (<http://www.keidanren-jigyoservice.or.jp>) の左側メニュー最下にある社内広報センターの「セミナー等のご案内」より最下の「経団連推薦社内報審査」へお進みください。「2018年度『経団連推薦社内報審査』作品募集のご案内」から各部門の審査申込書をダウンロードいただき、ご記入またはご入力の上、印刷した審査申込書と応募作品を封書でご郵送ください。その際、封筒の表に朱書きで「経団連推薦社内報〇〇〇部門審査申込書・作品在中」と必ずお書き添えください。

経団連事業サービスホームページ → 社内広報センター「セミナー等のご案内」 → 2018年度「経団連推薦社内報審査」作品募集のご案内

審査申込書のPDFファイルはAdobe Acrobat Readerにてご入力が可能です。

WORDファイルをご希望の方は、syanaikoho@keidanren-jigyoservice.or.jp宛にメールでご連絡ください。

【送付先】

〒100-8187 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階 経団連事業サービス 社内広報センター

「経団連推薦社内報〇〇〇部門審査申込書・作品在中」 ←朱書きで必ずお書き添えください。

- ・審査申込書と応募作品を受領後、請求書をお送りいたします。請求書の発送をもちまして審査受付となります。
 - ・イントラネット（WEB）部門でログインIDをお知らせいただく場合も、審査申込書は必ずご郵送ください。
 - ・複数部門に同一の社内報を応募される場合は、部門ごとのお申し込み、作品のご郵送をお願いいたします。
- ※応募作品は原則として返却いたしません。社内報掲載の機密情報・個人情報につきましては、当法人の個人情報保護規程に基づき、安全かつ適正に管理いたします。

応募締切

2018年9月28日（金）必着

応募費用

- ◎雑誌・新聞型社内報、イントラネット（WEB）社内報、映像社内報の各部門については1作品につき
 - 一般 48,600円（45,000円＋消費税3,600円）
 - 社内広報センター会員 32,400円（30,000円＋消費税2,400円）
- ◎特定テーマ部門については1作品につき
 - 一般でこの部門のみの応募会社 21,600円（20,000円＋消費税1,600円）
 - 社内広報センター会員および、上記審査のいずれかの部門に応募された会社 16,200円（15,000円＋消費税1,200円）

審査結果

- ・審査結果および審査委員の講評コメントは2019年2月下旬までに書面にてご送付いたします。
 - ・審査の結果、優秀な作品の中から雑誌・新聞型社内報、イントラネット（WEB）社内報、映像社内報については優秀賞、総合賞、特別賞を選定し、特定テーマ部門は企画賞を選定いたします。
- ※入賞作品については、表紙やトップページ、映像のキャプチャー画面などを報告書に掲載させていただきます。また、新聞・雑誌型部門の入賞作品につきましては、社内広報センターの社内報閲覧室、全国社内広報大会、その他一部のセミナーの閲覧コーナーにて展示させていただきます。

各部門の審査に関する事項

	対象	応募に必要なもの
1 雑誌・新聞型 社内報部門	日本国内において企業、事業所、団体などが発行する紙の雑誌・新聞型の社内報が対象です。 異なる誌紙名であれば、1社で複数応募も可能です。	必要事項を記入した審査申込書と、対象期間内に発行された雑誌・新聞型で同名称の社内報2号分をご送付ください（同じものを4冊ずつ。連続する2号でなくてもかまいません）。 異なる名称の社内報は別にご応募ください。
2 イントラネット (WEB) 社内報部門	日本語を基本とするイントラネット（WEB、SNS活用などを含む）社内報で、パソコンやスマートフォン、タブレットなどの情報機器を通じて、社内広報として従業員などに情報提供されるコンテンツが対象です。社内電話帳やマニュアル集などの業務用ツール類については審査、講評の対象外となります。	必要事項を記入した審査申込書と、対象期間内に発信・掲載された作品を以下のいずれかの方法でご応募ください。 [1] 実サイトへのログインIDを発行する [2] サイトデータをDVDなどにコピーする [3] サイトのキャプチャー画面をDVDなどに収録する * [2] [3] のDVDなどは同じものを3枚ご送付ください。 * 各応募方法の詳細は下の※1、※2をご覧ください。
3 映像社内報 部門	映像社内報として、映像機器、PC、スマートフォン、デジタルサイネージなどを利用し、社内広報活動の一環として継続的に社内に放映しているものを対象とします。イントラネットやWEBで公開しているものを含みますが、映像作品の審査はイントラネット（WEB）社内報部門とは別にご応募ください。	必要事項を記入した審査申込書と、対象期間内に放映された作品をDVDなどでご送付ください（同じものを3枚）。応募1作品ごとに申込書は1枚ご記入ください。応募作品数の制限はありません。
4 特定テーマ 部門	①ダイバーシティ（女性活躍推進、多文化共生、障がい者活躍推進、LGBT対応推進など）、②働き方改革（ワークライフバランス、業務効率向上、タイムマネジメントなど）のいずれかを取り上げた雑誌・新聞型社内報の特集、企画を対象とします（単独号での企画の場合は原則4ページ以上のもの。連載企画の場合は2号分）。雑誌・新聞型部門の応募と同じ号の特集・企画をご応募いただいても結構です。複数号にわたる連載企画については、合わせて1つの作品として審査します。	必要事項を記入した審査申込書と、対象期間内に発行・掲載された社内報の該当特集・企画が分かるように付箋を付けるなど、該当ページを指定してご応募ください（同じものを4冊ずつ）。 雑誌・新聞型部門と同じ号を応募される場合は、別途4冊、該当ページを指定してご応募ください。

※1イントラネット（WEB）社内報部門での作品応募方法

- [1] 実サイトへのログインIDを発行する→セキュリティ上問題がなければ、最も審査しやすい方法です。
- [2] サイトデータをDVDなどにコピーする→DVDなどにコピーしたのち、正しく表示されるかを確認してください。初めに開くファイルを指定し、ネットワークを切り離れたPCでも正しく表示されることを確認してください。社外秘の情報は、部分的に消していただいてもかまいません。
- [3] サイトのキャプチャー画面をDVDなどに収録する→通常の見え目通りに見えるようにサイトのキャプチャー画面を保存し、PDFかJPEGといった、一般的なPCで開ける画像形式でお送りください。社外秘の部分は、部分的に消していただいてもかまいません。

※2イントラネット（WEB）社内報部門の応募データについて

ご提出いただいた情報については、厳正に管理いたしますが、サイトすべての情報をデータでお送りいただくのが困難な場合は、内容を選択して、データをコピー、あるいはサイトのキャプチャー画面を画像データとして保存してお送りください。

イントラネット部門の審査では、できるだけサイトの全体像を評価したいと考えています。サイトの全体像が分かるページとともに、裏面の審査基準に合った内容が確認できるようなページを選んでお送りください。特に以下の内容のページは、収められていることが望ましいです。

- ・トップページ：サイト全体の基本デザイン、情報構造、各コンテンツへの経路を評価します。
- ・ニュース記事の一覧：トップページ以外にニュース記事の一覧ページがある場合。記事の頻度と記事タイトルの分かりやすさなどを評価します。
- ・ニュース記事の例：日常的な情報発信の質・量、レイアウト、写真の使い方などを評価します。
- ・特集記事・スペシャルコンテンツ、従業員登場型記事や双方向型企画など、特徴的な記事・コーナー、機能も総合的に評価します。

部門別審査基準について

雑誌・新聞型社内報部門	1 総合評価	発行目的・編集方針が会社の経営環境や状況を的確に反映し、社内報がそれを実現した内容になっている	250点	
	2 企画・内容	企画のねらいが明確で、展開が多面的で説得力を持っている	100点	計350点
		内容が分かりやすく、読者に考えさせて行動をうながす誌・紙面になっている	100点	
		発行頻度にふさわしい特集や連載・定例企画が充実している	50点	
		読者や編集方針に合わせて経営者、管理職、一般従業員が適切に登場している	50点	
		表紙の使い方にオリジナリティがある（明確な意図を持ち、主張がある）	50点	
	3 文章表現	文章・用語の使い方が適切で、誤字・脱字などがない	100点	計200点
		見出しやリード文が適切で効果的である	100点	
	4 レイアウト	見出し、本文、写真、イラスト、図表などがバランス良く配置され、読みやすいレイアウトになっている	100点	計200点
		内容に対して写真、イラスト、図表およびカラー、モノクロ、二色を効果的に活用している	50点	
あらゆる人にとって読みやすく、伝わりやすい文字や線、色の使い方がされている		50点		
総 計			1000点満点	
イントラネット（WEB）社内報部門	1 総合評価	発信目的・編集方針が会社の経営環境や状況を的確に反映し、社内報がそれを実現した内容になっている	250点	
	2 企画・内容	速報性のある、新しい情報を常にタイムリーに発信している	100点	計300点
		読者や視聴環境・ツールの特性に合った情報が適切な内容・ボリュームで提供されている	100点	
		読者や編集方針に合わせて経営者、管理職、一般従業員が適切に登場している	50点	
		視聴者にアクセスをうながす工夫がされている	50点	
	3 サイト構造・表現・レイアウト	必要な情報が得やすいサイト構造になっている	100点	計300点
		視聴しやすく、理解しやすい表現・レイアウトになっている	100点	
		効果的な見出し、リード文が使われ、文章表現が適切である	50点	
	4 WEB特性活用	見出し、文字量、写真、イラストなどのバランスがとれたコンテンツが掲載されている	50点	計150点
		イントラネット、WEBの持つ特性を効果的に活用している	100点	
総 計			1000点満点	
映像社内報部門	1 総合評価	制作方針や目的が会社の経営環境や状況を的確に反映しており、社内報がそれを実現した内容になっている	200点	
	2 個別評価	内容が分かりやすく、視聴者が理解しやすい工夫がされている	100点	計800点
		視聴者に問題意識を持たせたり行動を起こさせたりする内容である	100点	
		映像全体の構成が優れている	100点	
		放送時間や頻度に適した構成・内容である	100点	
		視聴者に合った切り口で、多角的に取材されている	100点	
		視聴者や制作方針に合わせて経営者、管理職、一般従業員が適切に登場している	100点	
		映像、ナレーション、音声の使い方、編集が適切かつ効果的である	100点	
		視聴者をひきつける工夫をしている	100点	
	総 計			1000点満点
特定テーマ部門	1 企画・内容	特集（企画）にオリジナリティがある	A・B・C・D・E	
		特集（企画）のねらいが明確で分かりやすい	A・B・C・D・E	
		特集（企画）の内容がよく掘り下げられ、展開が多面的である	A・B・C・D・E	
		特集（企画）内容に合わせて、適切に人が登場している	A・B・C・D・E	
		読者に考えさせて行動をうながす内容になっている	A・B・C・D・E	
	2 文章表現	文章・用語の使い方が適切で、誤字、脱字などがない	A・B・C・D・E	
		見出しやリード文が効果的につくられている	A・B・C・D・E	
3 レイアウト	特集（企画）内容にふさわしいレイアウト、効果的な扉になっている	A・B・C・D・E		
	見出し、本文、写真、イラスト、図表などのバランスが良く、読みやすい	A・B・C・D・E		
総合評価				